

ULT通信

あると

ようやく秋らしい爽やかな気温になってきました。
読書や運動をするのにちょうどいい季節ですね。
慌ただしい時こそ、心のリフレッシュが大切です。
昼休みや放課後のひと時をULTで過ごしませんか？

2019. 10. 16号 / vol. 89 発行 / ULT 図書館司書



読んで！埼玉 2019 ～さいたままでアツイ本特集～



さいたま市は政令指定都市の中で3番目(横浜市、大阪市に次ぐ)に図書館での資料予約数が多い街です(『図書館年鑑 2019』より)。特に人気作に予約が殺到して予約者数がすごい人数になることがあります。そこで、今回はさいたま市立図書館の予約ランキング上位作の中からULTで借りられる本と10/10時点での予約件数を紹介します。



『そして、バトンは渡された』
瀬尾まいこ
文藝春秋
2265件



『かがみの孤城』
辻村深月
ポプラ社
2217件



『蜜蜂と遠雷』
恩田陸
幻冬舎
2053件



『沈黙のパレード』
東野圭吾
文藝春秋
1680件



『コーヒーが冷めないうちに』
川口俊和
サンマーク出版
1473件



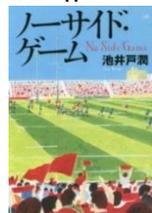
『マスカレード・ナイト』
東野圭吾
集英社
1296件



『コンビニ人間』
村田沙耶香
文藝春秋
943件



『屍人荘の殺人』
今村昌弘
東京創元社
802件



『ノーサイド・ゲーム』
池井戸潤
ダイヤモンド社
777件



『フーガはユーガ』
伊坂幸太郎
実業之日本社
708件

凄い数ですね。2000番目の人の手に渡るのはいつになる事やら…。今回紹介した作品は、ULTならすぐに借りられるかもしれません。気になる本があった人は、ぜひ借りに来てくださいね。

* 予約件数は10月10日時点のものです。さいたま市図書館ホームページを参考にさせていただきました。
<https://www.lib.city.saitama.jp/bestorder?8>

ULT NEWS

●サマーアートキャンプ写生画展開催中！
生徒たちの作品が、ULTの階段に展示されています。素敵な風景画を楽しもう！



●ULT読書月間11月1日～
11月は読書月間です。今年も色々な企画を計画中です。詳しくは、ポスターや次号のULT通信で追って連絡します！

★ Reading ★ Marathon

★ ★ ★

25pt

3年HKさん

September 24th

★ ★ ★

★ ★ ★

50pt

1年S.H.さん

September 10th

★ ★ ★

新着案内

9月の新着は170点です。
一部抜粋で紹介します。

↓シリーズ小説 続巻&新着！

タイトル	著者	請求記号
路地裏のほたる食堂③ 3つの嘘 (講談社タイガ)	大沼紀子	913.6-オオ-[3]
キノの旅 XXII (電撃文庫)	時雨沢恵一	913.6-シク-22
今昔百鬼拾遺 天狗 (新潮文庫)	京極夏彦	913.6-キヨ-3
ケーキ王子の名推理(スペシヤリテ) (新潮文庫)	七月隆文	913.6-ナナ-1
余物語 (講談社BOX)	西尾維新	913.6-ニシ-26



↓話題の本からトレンド、社会問題まで



タイトル	著者	請求記号
ミライのつくり方2020-2045: 僕がVRに賭けるわけ (星海社新書)	GOROman	007.3-コロ
クジラのおなかからプラスチック	保坂直紀	519.4-ホサ
5Gビジネス (日経文庫)	亀井卓也	547.5-カメ
12の問いから始めるオリンピック・パラリンピック研究	坂上康博	780.6-サカ
レンタルなんもしない人のなんもしなかった話	レンタルなんもしない人	916-レン

世界にも目を向けてみよう↓

タイトル	著者	請求記号
入門東南アジア近現代史 (講談社現代新書)	岩崎育夫	223-イフ
オーストラリア (地球の歩き方 2019~2020年版)	『地球の歩き方』編集室	297.1-チキ-2019
中国文化55のキーワード	武田雅哉ほか編著	302.22-タケ



コラムde!!レ。



第89回は笹木が担当です。今回のお題は「日本文化」。紹介したい本は『資料 有職故実』です。ULTにある本の中でわたしが最も好きなもののひとつ。なぜならすごくデカイから(笑)！

「有職故実(ゆうそくこじつ)」とは、昔のことがら(故実)を知っている(有識)、という意味で、日本古来のしきたりや慣習、またはそれらの研究を表す言葉です。『資料 有職故実』は「男装・乗物編」「女装・

調度編」「男装・厩舎編」の3巻に分かれていて、昔の貴族たちの衣装や道具類、武具などを色鮮やかな写真・絵とともに解説しています。みなさんが持っている国語便覧の巨大版のようなもの。十二単や大鎧の着方とか、牛車や馬具の構造とか、詳細に載っていて眺めていると飽きません。時代劇で見ると文化は、現代の私たちにとってもはや「異文化」かもしれませんが、お雛様の服がどうなっているか知りたいときなどに(?)ぜひ読んでみてください。お内裏様の冠の頭頂部の出っ張った部分、髪の毛(マゲ)が収納されてるって知らなかった…。

重ねて言うと、この本のステキな点はとっても大きいところ！(個人の感想です。)本棚から両手で抱えて取り出して、机に置いて、よいしょ、と言いながらページをめくる、その動きがなんだか楽しい。大きな本だと特にわかりやすいけれど、たとえ小さな本でも、紙の本の良いところは“動作”にもあるような気がします。上下・右左と行を追って目を動かし、1ページずつめくって、これから読む分と読み終わった分とを厚さや重みで体感する。電子データを読むのとはちがう味わいがあります。内容の理解度や記憶への定着度も上がるような…？動作・運動が伴う読書の研究があったらぜひ知りたい！

さて、若干強引なつなげ方ですが、次回のテーマは運動でお願いします。11月のULTは読書月間。今年は「Let's SPORT~する?みる?よむ!~」をテーマに、スポーツに関する本の特集展示を行います。コラムでもスポーツについて語ってください！